

JCHO東京新宿メディカルセンター ポリバレントファーマシストプログラム

目標：社会人としての自覚を持って行動できる。
医療安全を常に意識して業務を行う。
病棟薬剤業務の一部を担えるようになる。

責任指導薬剤師：副薬剤部長
指導薬剤師：主任・各担当部署のリーダー

4月～5月

基本的なことを
学び実践

- ・調剤の流れを理解し
内規に基づいた調剤ができる
- ・病棟常備薬管理を理解する
- ・処方鑑査・疑義照会を開始

- ・都病薬新人研修参加
- ・JCHO新人研修参加

ステップ1
到達度確認

6月～9月

基本的なことが一人で
できるようになる

- ・調剤室業務ができる
麻薬、管理薬、血液製剤、
覚せい剤原料、毒薬、抗がん剤
を含む
持参薬鑑別
手術前中止薬
窓口対応・電話対応
鑑査
- ・注射調剤業務（計数・計量）ができる
一施用調剤・鑑査
抗がん剤取り揃え
- ・製剤業務ができる
院内製剤
抗がん剤混注の基本操作
TPN混注操作
- ・在庫管理、緊急発注を理解する
- ・病棟薬剤業務の概要を理解する
- ・都病薬の研修会参加

ステップ2
到達度確認



当直

10月～3月

知識・技能・姿勢を身
につけて実践すること
ができる

- ・安全・確実に調剤業務ができる
- ・指導・助言を基に行動できる
- ・問題解決のための情報収集ができる
- ・医療人としての自覚と責任ある行動がとれる
- ・社会人としてのマナー、協調性、コミュニケーションがとれる
- ・業務の優先順位が分かる
- ・緊急時の対応を理解し、指示の下に行動できる
- ・在庫管理の意義を理解し、基本的な管理ができる
- ・抗癌剤の支持療法、投与中止基準、モニタリング等含めて処方鑑査ができる
- ・適正な薬物療法支援（病棟薬剤業務）を実践する
- ・都病薬の研修会参加
- ・日本病院薬剤師会の研修会参加

ステップ3
到達度確認